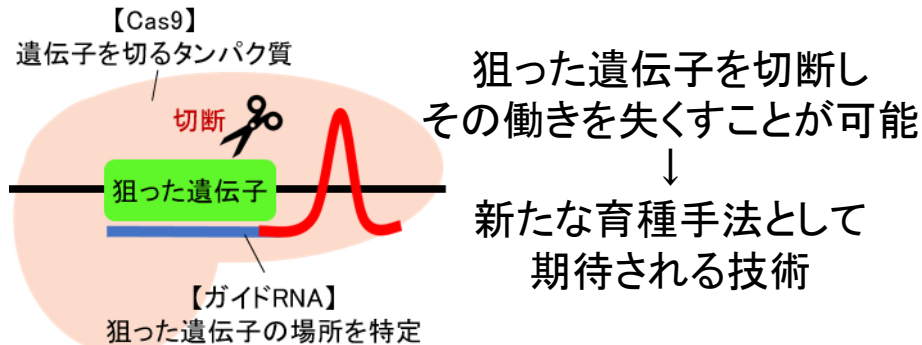


かんきつのゲノム編集利用に向けた 培養技術の開発について

近年、地球温暖化による温州みかんにおける浮皮が問題となっており、浮皮しない新品种の開発が求められている。しかし、多胚性であることから現在の育種手法では開発することが困難である。この課題の解決策として、浮皮の原因遺伝子を標的としたゲノム編集を検討している。現在のところゲノム編集に必要である培養技術が未確立であることから、温州みかんにおける培養技術の確立を試みる。

ゲノム編集とは？

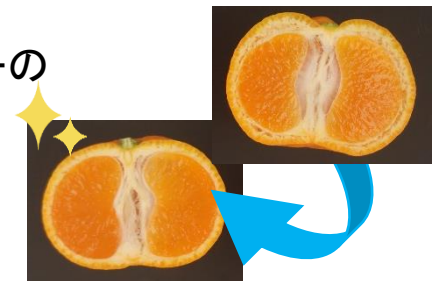


試験の最終目標

浮皮の原因遺伝子の
働きを抑制

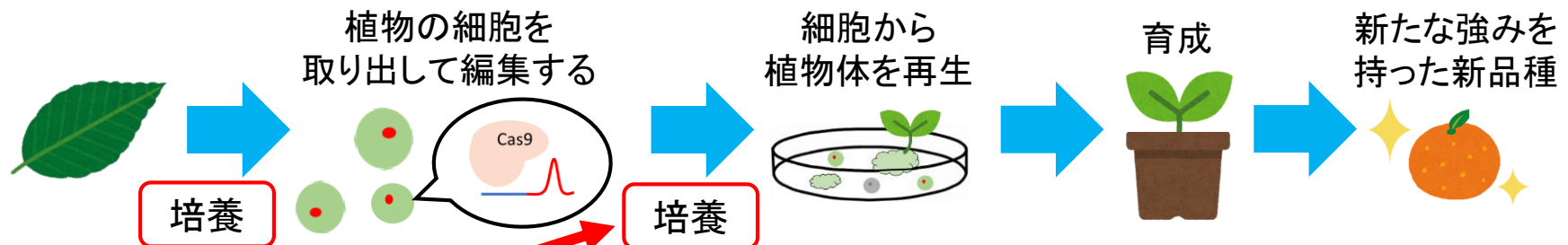
↓

浮皮しない
新品种を作成



浮皮しない温州みかん

ゲノム編集に必要な培養技術の開発に向けた取り組み



今回は試験に必要な**培養**を行うために最適な培地と条件を検討し、技術の確立を図る